

(4) 作業従事者の健康管理

大阪 PCB 処理事業所においては、作業従事者の健康管理として、労働安全衛生法に基づく特殊健康診断の実施に加え、血中 PCB 及びダイオキシン類濃度の測定を定期的に行い、目標値との比較による管理を行っています。

PCB 廃棄物を取り扱うエリアで作業する作業従事者を対象に採血し、毎年 6 月を目途に血中 PCB を測定しており、令和 2 年度 6 月までの状況については、血中 PCB 濃度は、全作業従事者が健康管理の目安となる生物学的許容値である 25ng/g-血液を下回っていることを確認しました。

平成 30 年度からレベル 3 区域で作業する解体班全員と他の班において血中 PCB 濃度が 6 月の測定において 2 ng/g-血液以上であった者を対象に 12 月に採血し測定をすることとなりました。今年度 12 月採血分は現在分析中です。

血脂中ダイオキシン類濃度については、平成 30 年度から 12 月に採血・測定を実施しています。環境省の調査結果（ダイオキシン類関係作業に従事していない者を対象とした調査）と同等又はそれ以下を J E S C O の当面の健康管理の目安としており、令和元年 12 月の測定結果では、最大値が 38pg-TEQ/g-lipid の作業従事者がいましたが、平成 23～28 年度の環境省調査結果（0.39～56pg-TEQ/g-lipid）を下回っています。今年度の 12 月採血分は現在分析中です。

また、作業従事者に対して血中濃度結果を通知する際、作業状況や安全衛生上の注意事項の遵守状況などをヒアリングし、吸気缶の交換、保護マスクの装着時の注意点、保護具の脱着、保管の管理方法、入出時間等について指導しています。

今後も測定を維持し、健康管理を進めてまいります。

4. ヒヤリハット・キガカリの取り組み状況

ヒヤリハット・キガカリ活動は、事業所の安全レベル向上と危険のない職場づくりのために、積極的に取り組んでいます。作業時からの提出件数は(表-15)のとおりです。作業員から提出された案件は、タスクチームで1件毎に内容を確認し、改善が望ましいと判断した案件については確実に改善を進めています。これらの実施状況については、毎月開催されるJESCO/運転会社の安全衛生協議会で報告されています。

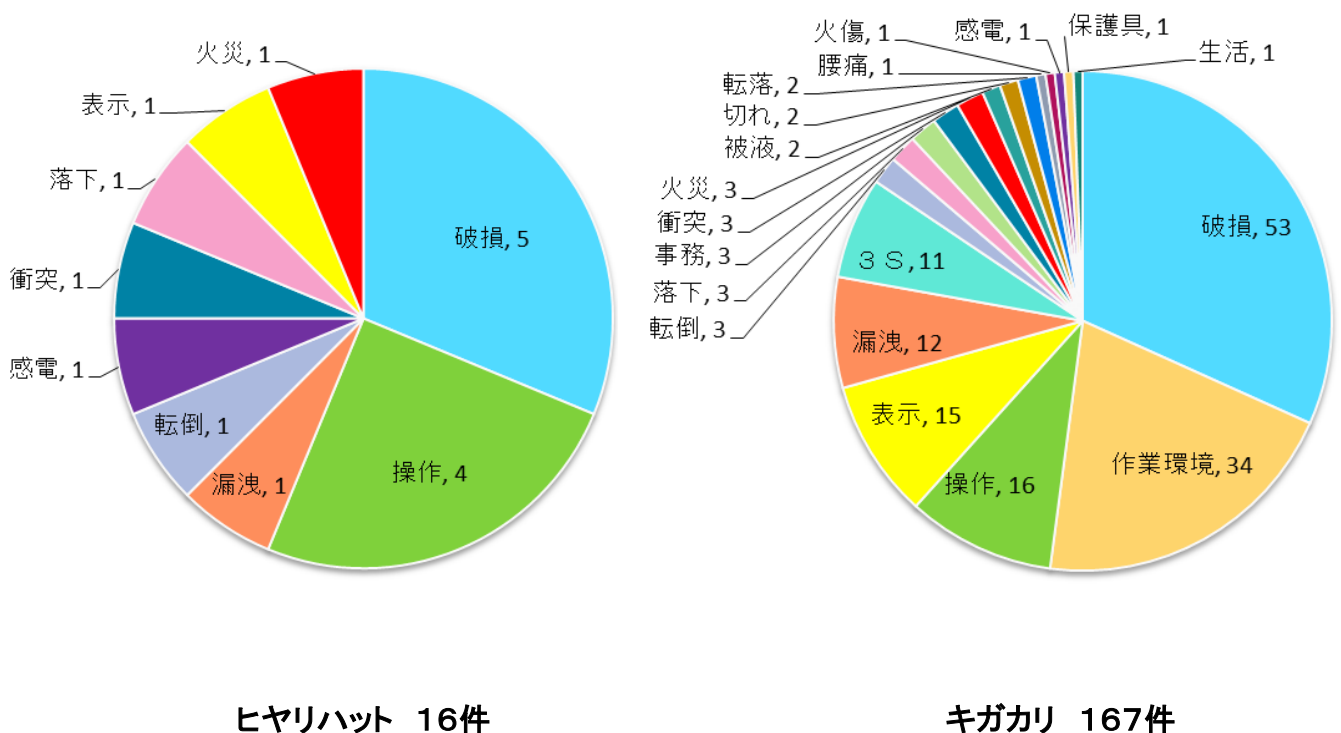
また、令和2年4月から令和2年12月の間に提出されたヒヤリハット・キガカリ案件の項目別分類は(図-6)に示すとおりです。

表-15 ヒヤリハット・キガカリの提出件数

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2*
ヒヤリハット	78	162	21	66	99	75	78	40	98	98	98	74	77	55	16
キガカリ	41	357	168	293	247	205	306	171	236	236	274	244	262	268	167

*R2年12月末

図-6 ヒヤリハット・キガカリ項目別分類件数(令和2年4月～令和2年12月)



なお、労働災害の未然防止策をより有効に進めるため、JESCO全事業所においてヒヤリハット案件のリスク評価を行いリスクが高いものについては、インシデントと位置付けて本社に報告し各事業所に水平展開するとともにリスク低減策を講じています。

リスク評価は、リスクの見積もり(表-16)を元に評価しており、(表-17)にリスク評価結果を示します。大阪事業所では、このリスク評価結果においてリスクレベルⅢ以上のものをインシデントとしています。令和2年4月以降の16件は全てリスクレベルⅡ以下であり、インシデントはありませんでした。

表-16 リスクの見積もり

【労働災害に係るリスク評価】 対象：ヒヤリハット情報			
ヒヤリハットとは、作業中にヒヤリ又はハットするような、一歩間違えばトラブルに結びつく事象			
この事象のリスク評価結果においてリスクレベルⅢ以上のものをインシデントと位置づけ			
人への危害	点数	可能性	点数
死亡・重傷	10	確実	6
休業災害	6	大	4
不休災害	3	有	2
微小	1	無	1

+

リスクレベル	リスクポイント	リスクの程度	指定
Ⅳ	12~16	安全衛生上重大な問題有り	インシデント
Ⅲ	7~11	安全衛生上問題有り	
Ⅱ	5~6	安全衛生上多少問題有り	
Ⅰ	~4	安全衛生上問題なし	

=

表-17 ヒヤリハット情報のリスク評価 (令和2年4月~令和2年12月)

月 リスクレベル	R2年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
Ⅳ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅱ	2	2	0	0	0	1	3	1	0	9
Ⅰ	2	0	0	1	0	1	2	1	0	7
合計	4	2	0	1	0	2	5	2	0	16

5. PCB 廃棄物処理施設設備改造・運用変更

(1) 環境安全評価委員会開催状況

令和2年4月から令和2年12月末までに弊社「PCB廃棄物処理施設設備改造・運用変更管理規程」に基づき開催された環境安全評価(SA)委員会で審査された設備改造や運用変更の案件は(表-18)のとおりです。

表-18 SA委員会(審査案件)

年度	No.	件名	SA委員会開催日
令和2年度	1	回収溶媒充填装置設置	R2年10月26日

(2) 設備改造の概要

回収溶媒充填装置設置

回収溶媒充填装置設置に関する目的等について、別添資料1に示しています。